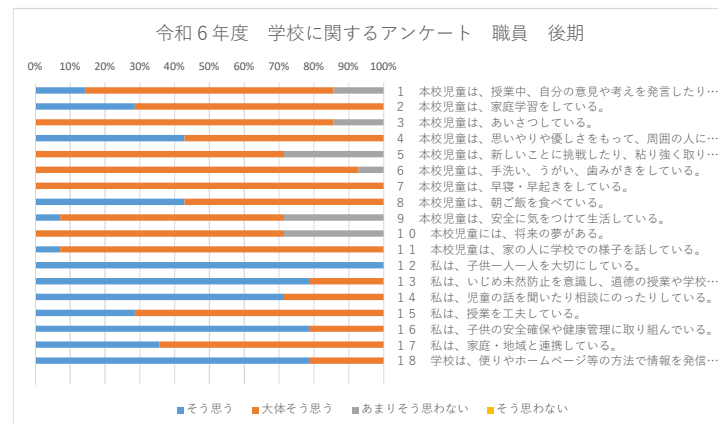
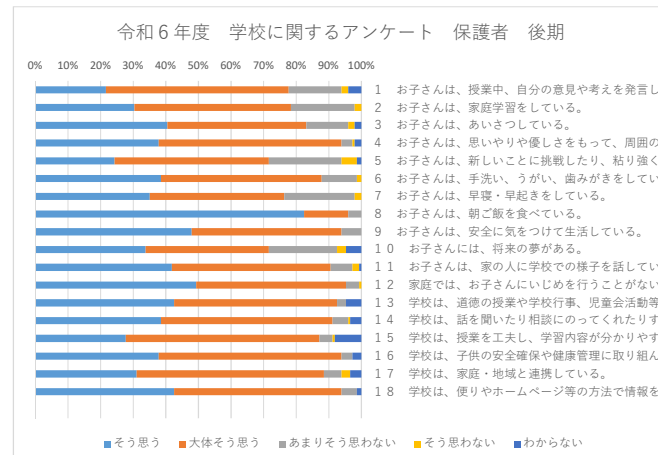
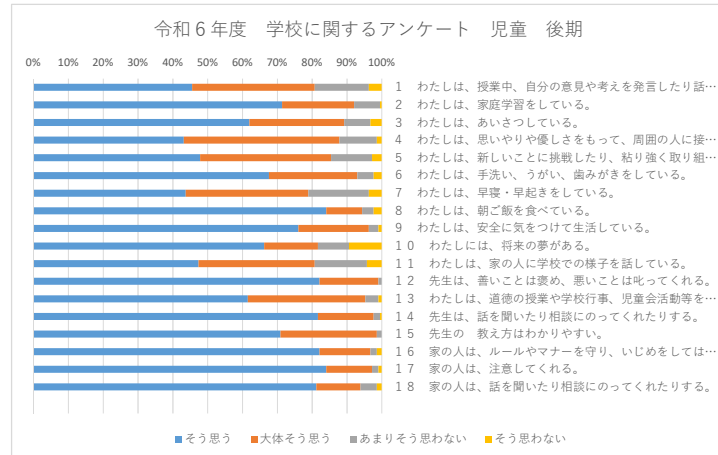


令和6年度 浜松市立北浜東小学校 学校評価



○ 結果 R6前期の割合 → R6後期の割合

「1 学習中、自分の意見や考えを積極的に発言したり話し合ったりしている。 目標80%」

児童	79.5%	→	80.8%
保護者	70.5%	→	77.7%
職員	86.7%	→	85.7%

「4 思いやりや優しさをもって、周囲の人に接することができる。目標90%」

児童	90.2%	→	87.8%
保護者	95.9%	→	93.9%
職員	86.7%	→	100%

「5 新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりできる。目標80%」

児童	84.7%	→	85.4%
保護者	70.5%	→	71.6%
職員	46.7%	→	71.4%

1 自己評価

《児童の傾向》

- ・1、5に関して、前期よりも評価が高くなり、学校目標も達成することができた。目標を明確にすることで児童たちは様々な活動に意欲的に取り組むことができたと考えられる。
- ・4に関して、大人よりも低い評価数値になっている。発達段階もあり、自己肯定感が低い児童がいると思われる。
- ・13のいじめ対策について、95%の児童はいじめ防止・対応について肯定的な意見をもっている。

《保護者の傾向》

- ・1、5に関しては、前期より評価が高くなった。児童の学校や家庭の様子や、職員からの情報によるものと考えられる。
- ・13のいじめ対策について92%の保護者はいじめ防止・対応について肯定的な意見をもっている。

2 学校関係者評価 (1/31(金)開催)

- 1について、発言、話し合いの評価は上がっているので、今後は読んだり書いたりする活動も充実させるなど、より豊かな語彙を増やしていってもらいたい。児童たちの温かい聴き方がよい表れにつながっている。
- 5について、数値が上がっているのはとてもよい。児童たちは成長を自覚し、保護者や職員は期待値も加味されているのであろう。「新しいことに挑戦」と「粘り強く取り組む」を別々に質問したら結果が変わったのではないか。
- 13のいじめ対策について、アンケートによる発見の割合がものすごく高いので、今後も継続して定期的に行ってもらいたい。友達との協働的な活動がよい雰囲気を生んでいるように感じる。

3 今後の改善方策

- 1について、「やらされる」のではなく、「伝えたい・知りたい」という気持ちをもてるような授業や活動を計画していく。その上で、「その子なりの表現で」伝えられる場を設けていく。
- 4について、自他を大切にしていける心をさらに育てていくために、意図的に協働的な活動を設定するなど構成的エンカウンターを充実させていく。
- 5について、短期的・長期的な自己目標設定場面を意図的に設けた上で、振り返りの時間を充実させていく。アンケートの質問内容も検討し、焦点化していく。
- 13のいじめ対策について、引き続きいじめアンケートを定期的に行うとともに、いじめの起こりにくい環境づくり、いじめの早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいく。